校友時報

平成17年5月10日
編集人兼発行人
秋田県能代市高塚2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所　㈱大勝堂印刷

やる気みなぎる新入生

期待を胸に239名が入学

四月六日、陽春のもとで平成一七年度の入学式が挙行された。空は晴れわたり、彼らの新生活を祝ようだった。

入学式では、緊張の面持ちで一人一人が返事をし、晴れて能代高校生となった。さて、一年生はどんな気持ちで入学してきたのだろうか。クラスの代表者にアンケートをとった。

①能高生はどんなイメージですか？
②どんな部活動に入りたいと思っていますか？
③高校生活でがんばりたいことは何ですか？

一年A組　浅野　大地
①いい人がいっぱいいる。
②明るく楽しい部活動。
③勉強と部活動の両立。

山崎　恵
①部活動と勉強を両立していて、あこがれています。
②楽しんでできる部活動。充実できる部活動。
③勉強と部活動をうまく両立すること。毎日の予習。三年間休みなし!!

一年B組　阿部　大輝
①一人一人が意識を高くもって様々な事に取り組んでいると思います。
②野球部に所属します。
③学習と部活動の両立や多くの友達を作ることです。

淀谷真理佳
①良く勉強し、進学を強く希望しているイメージ。
②勉強が大変だと思うから、入るなら文化部にする予定。
③主に勉強で、部活動との両立もしたい。

一年C組　池端　廣紀
①頭がいい。
②決まっていないけれど、バレーボール部がいい。
③勉強と部活動。

米倉　真莉
①文武両道の人が多い。
②吹奏楽部。
③文武両道。

一年D組　熱海　秀
①頭が良さそうなイメージ。
②テニス部です。
③部活動です。

山田麻衣子
①頭が良さそうです。文武両道だと思います。優しい感じがします。
②まだ決まっていません。
③友達をたくさん作ることと、勉強です。

一年E組　相澤　優介
①怖いイメージ。
②卓球部。
③勉強。

渡辺　由香
①勉強もできるし、部活動もがんばる。文武両道のイメージがあります。
②中学校にはなかった部活動に入りたいと思っています。
③勉強を頑張りたいと思います。

一年F組　石川　孝仁
①みんなが勉強できる人たち。
②美術部
③とにかく勉強

松岡　由香
①みんなが自分の夢に向けてがんばっていてかっこいい高校生だと思います。
②文化部に入りたいと思っています。できれば先輩とフレンドリーな感じで・・・。
③皆勤賞をねらうために毎日元気で休まないようにすることです。

一年生の疑問に新聞部がお答えします。

Q. 理数科に入ると、国語や社会の勉強はしないのか。
A. もちろんします。ですが、文型に比べると少なくなります。その分、数学・理科が増えます。

Q. どうすれば勉強と部活動を両立できるか。
A. 頑張って予習をしっかりやるといいと思います。

Q. 高校生活で楽しいこと、嬉しいこと。
A. 人それぞれですが、自分で見つけ出すのも楽しみです。

Q. 十里強歩のこと。
A. 十里強歩は九月頃行われます。男子は40㎞、女子は20㎞の完歩を目指します。

Q. 能高祭のこと。
A. 能高祭は中夜祭と後夜祭があり、クラス対抗や部活動対抗ののど自慢やバンド、HRデコなど楽しい企画がたくさんあります。

Q. 一日何時間勉強しているか。
A. 一年生は平日最低二時間勉強するといいと思います。

Q. 能高で一番大変なことはなんですか。
A. 初めは授業の進む速さに慣れず、予習などが大変だったと思います。

Q. 「十里強歩」はどれくらい大変ですか。
A. 友達と励まし合うので、それほど大変ではないです。足が痛くなりますが、完歩した後の達成感は何ものにも代えられません。

Q. 部活動をやった方が学校生活が楽しくなりますか。
A. やった方が楽しくなります。

Q. 勉強はどれくらい難しいですか。
A. 人それぞれですが、やった分だけ力がつきます。

Q. 学食はおいしいですか。
A. たくさんメニューがあり、おばさんたちの愛情こもった料理は絶品です。最近では、おにぎりも売っています。

Q. 能代高校の特色。
A. 全国に名をはせる部活動が多いことです。

Q. 年間行事の日程。
A. この新聞についている年間行事表をご覧下さい。

Q. 能代高校の意外な一面。
A. 学校のイメージとは裏腹に、おもしろい先生がいっぱいいます。

新入生に向けて

学校長　菊谷　一

入学おめでとう。君達が本校を志望した理由の多くは、社会一般で高く評価されている本校の八十年の歴史と伝統、すなわち風格と品位に対する憧れではなかったでしょうか。中でも本校の校是である「文武両道」を目指したいとの思いは強いようですが、その達成には主体的に物事に取り組もうとする強い意志が必要です。

しかし、最近はいずれの学校でも、生徒の主体性が乏しくなっているように感じます。教師ができることは、君達の持つ能力を引き出し、希望が実現できるように手助けすることです。目標達成のためには、君達が自ら努力しなければならないのです。このことを忘れないでください。

ジョン・F・ケネディ大統領は、就任演説において、「国民諸君よ、諸君はいま、諸君の国家が、諸君に対して、何をしてくれるかを問うべき時ではない。諸君が国家に対して、何をすべきか、問わねばならない時だ」という、名言を残しました。国が何をしてくれるのかばかりを待っているのではなく、自分が国に対して何ができるのかを考えて行動せよ、という意味でしょう。学校に憧きう換えますと、学校が何をしてくれるのかを待っているのではなく、自らがよりよい学校づくりのために、新たな風を吹き込むように努めなくてはならないということになるのではないでしょうか。君達には、本校の更なる伝統づくりのために何ができるのか、よく考え行動してもらいたいと思います。

人間の能力は生まれながらにしてでき上がっているものではなく、一人ひとりの中に埋まっています。それを掘り起こし鍛えていくことによって、素晴らしい才能が開花するものです。若い時にこそ、能力の限界、体力の限界に挑戦して、成就感を味わうことが大切です。自分の能力を出し切ることこそ、人間として生まれた甲斐があるというものです。

早く、文に武に目標を見出し、その達成のための努力を積み重ねてください。強い意志で物事に取り組めば、必ず道は開けるものです。「初心忘るべからず」、たゆまぬ努力こそが、これからの将来に向け、大きな自信につながるはずです。君達の本校での健闘を祈ります。

授業の大切さを忘れていないか!?

大学入試の現在（いままで）と未来（これから）

昨年度の国公立・管外大学合格者は、推薦8人・前期72人・後期16人・計96人と、数年振りに増加した。

進路指導主事の小松先生は、合格者増加の理由として、前三年生が補習・添削に熱心だったことも挙げているが、自分の希望と力量に見合った大学を上手く選ぶことができたのも一因と考えている。元三年部の桜井先生は、「センター試験後の面接で、担任教諭のアドバイスを素直に聞いたことが合格につながった」と話してくださった。つまり、自分の現状を冷静に判断して、合格が明らかに困難と思われる大学を受験しなかったということだ。実際、センター試験の結果は全体的には特別良いものではなかったのだが、前記の内容と、センター試験後の頑張りが影響してこの好結果を生んだ。そのため今回は、秋田大・弘前大などの地元大学の合格者数が例年の倍だった。

さて、今年度以降も国公立大学合格者数をのばすにはどうするべきか。おそらく現三年生は、今年からセンター試験に導入されるリスニング科目に不安を感じているだろう。しかし小松先生は、リスニングはそれほど危惧するものではないと言う。すでに定期テストで実施されている他に各模試業者も対策を講じており、秋には秋田市でのプレテストも検討されている。それ以上に注意を払うべきなのが、前期試験でも面接を課す国公立大学が増えていることだ。テストだけでは見られない強い意欲や新鮮な発想を、今の大学は求めているのだ。

対策としては、全教科を授業中心で学ぶことが基本だ。塾よりも各自で購入する参考書よりも補習を、それでも不十分な人は添削を利用するといい。担当の先生が必要に応じて相談にのり準備をしてくださる。学校の存在を十分に活用して欲しい。

最後に元三年部主任の神馬先生の激励の言葉を紹介したい。「配られた『進路の手引き』の先輩方の受験体験記を見て欲しい。そして、自分たちも成功者として体験記を書けるように頑張って欲しい」。三年生に限らず、一、二年生もそれぞれの進路に向かって邁進して欲しい。

より高い目標を

生徒会長　中島瑞樹

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。輝かしい夢と、大きな期待を胸に、この能代高校の門をくぐったみなさんは、これから、いよいよ高校生としての新しい生活が始まります。慣れない生活に、不安や戸惑いを感じているかもしれません。しかし、早く生活のリズムをつかみ、友人をたくさん作ることで、楽しい学校生活が送れると思います。

伝統ある能代高校は今年、創立八十周年を迎えます。皆さんは、この歴史ある学舎で素晴らしい仲間を作り、かけがえのない思い出を刻むことができる喜びを全身で感じていることでしょう。分からないことや疑問に思ったことなどは、先生方や私たち先輩に遠慮なく質問して下さい。そして、友好の輪を幾重にも広げて下さい。

さて、能代高校には先輩たちが築き、引き継いできてくれた三大行事があります。遅くまで残って準備に奮闘する能高祭。自分の体力の限界に挑戦し、夜の闇の中をひたすら走り、歩き続ける十里強歩。一致団結してクラスの団結力で勝負する球技大会。いずれも学年の枠を超えた熱狂的な盛り上がりに、強い感銘と感動を覚えることでしょう。また、数多くの部活動があり、どの部も目標を持ち、その目標を達成するために日々、練習や活動に励んでいます。ぜひ、入部し自己を高めて下さい。

一番重要なことは、自分の目標や夢をしっかりと持つことです。そして、計画を立て、実行・継続することが、充実した三年間を送り、自分の進路や夢を叶えるために、必要不可欠となります。

希望に充ち満ちた皆さんは、無限の可能性を持っています。何事にも真剣に取り組み、毎日が充実した生活を送れることを強く願っています。また心身を鍛え、自らの目標を高く掲げ、努力してほしいと思います。何事にも動じることなく堂々と、能高生であるという自覚をしっかりと心に刻み、日々向上しようという姿勢で過ごして下さい。人生で一度きりの高校生活を僕たちと一緒に、思う存分謳歌しましょう。

新聞部員募集

校友時報を一緒に作りましょう

通点

最近テレビドラマで話題になっている「ごくせん」を知らない人は少ないだろう。▼仲間由紀恵が扮するヤンクミが不良クラス三Dの担任になって、次々と起こる問題を解決していくという大人気のドラマだ。その魅力は一体どこにあるのだろうか。▼いつも生徒の味方になり「人の強さなんてものは力で決まるもんじゃない」というヤンクミのセリフに思わずシビれるという人も多い。こんな言葉は、普通言えるものではない。それだけヤンクミは、「仁の心」が大切だと伝えたいのであろう。▼一方、生徒役には、かっこいいタレントをそろえている。女性には、それが目当てで見る人も多いようだ。▼それにしても、「ごくせん」は登場人物もストーリーもかなり現実離れしている。放送中は、楽しい娯楽だが、放送が終了すると、人々の話題にも上がらないものになってしまうのではないだろうか。▼こんなにもありえない設定の「ごくせん」を、子どもにつられて親や祖父母も見て家族の話題となり、視聴率は30％を超えた。ヤンクミを「現代の水戸黄門」と感じているファンもいる。私は水戸黄門を見たことはないが、「筋を通して、ずばっと人の道を説くヤンクミを見るとスカッとする。そんな水戸黄門も呼べる爽快さが魅力」という意見には共感できる。▼ヤンクミの熱意が周りの人の心を変え、そして視聴者の心をもつかんだのだ。自己の損得に関係なく、ひとりの人間としてどう生きるかを、笑いの中から感じられるからであろう。

新たなるPOWER!

先生の窓

3月25日に離任された先生方をお送りして、今年も新しい先生方をお迎えしました。新任の先生たちに、これからの生活への抱負と、能高生へのメッセージをいただきました。これから一年間よろしくお願いします。

三浦　政博先生　能代北高校で七年間過ごしてきたため、男子と勉強することに不安もあるが期待している。外から見ていると勢いと活気があり、その能代高校のパワーをもらえると期待している。明るく元気にけじめをつけて一緒に勉強していこう。

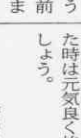
伊藤　康夫先生　約二十年ぶりの母校です。何事にも一生懸命取り組めということを仕事を通じてまた野球を通じてたくさんの方々から教わりました。まだまだ甘えに負けてしまうこともありますが、精一杯前進していきたいと思っています。がんばろう！

加茂　玲子先生　能代高校の生徒のみなさんには、すばらしい機動力が備わっていると感じています。私もみなさんに負けないように頑張りたいです。

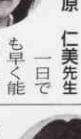
藤田　綾子先生　伝統ある能代高校で勤務できる事を誇りに思います。教科を通した対話だけでなく、部活動や様々な場面でみなさんと仲良くなりたいです。大きな声で挨拶すると、互いに清々しい気持ちになります。授業の前後、廊下で会った時は元気良く挨拶し合いましょう。

芳賀　園子先生　はじめまして、芳賀園子です！　一日も早く能代高校に慣れ、みなさんの進路達成のために、精一杯お手伝いしたいと思っています。一緒に頑張りましょう!!　どうぞよろしくお願いします。

菅原　仁美先生　一日でも早く能代高校での生活に慣れ、能高生の進路実現の手助けができればと思っています。一日一日を大切にし、能高生としての誇りを持ち、充実した高校生活を送って下さい。

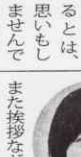


後藤長三郎事務長　なせば成るなさねばならぬ何事も成らぬは人のなさぬなりけり　江戸時代後期の九代目米沢藩主上杉鷹山の詠んだ有名な和歌だ。皆さんも、そうありたいという気概を持ち、そうなるという自信を持って、チャレンジして下さい。



嶋田　直人主事　母校に赴任できるとは、思いもしませんでした。四月一日から通勤しているのが、とても不思議です。今、現在、新しい環境に慣れる、新しい仕事を覚えることに精一杯ですが、早く能代高校の一人として頑張れるように勉強中です。これからよろしくお願いします。

関　由香子主事　朝、清掃時の挨拶、とても爽快に感じます。授業中の校舎は静まりかえっていますが、休み時間や放課後になると事務室から生徒達の「動き」を感じています。これから能高の沢山の行事に触れることが楽しみです。事務室から応援しています。



加藤　明子先生　学業・部活動に真剣に取り組む生徒が多く、また挨拶などの礼儀もよく能高はとても雰囲気の良い学校です。高校生活の三年間は自分の進路を決定する大切な時です。現在の自分に満足することなく、日々自分を高める努力を怠らないで下さい。

高田　英一先生　大学を卒業して二年目なので、まだまだ分からないことがあるのでこれから学んでいきたい。毎日毎日、目標をもって生活してもらいたい。

金谷佳世子先生　自分は英語の担当で、英語は社会でも通用する武器だから頑張って下さい。能代高校出身で、この学校は勉強ができ、行事もいいので一緒に頑張りましょう。

一年間先取りウオッチング　行事早見表

4月から、能高生となった一年生のみなさんのために、この一年間の流れを簡単に紹介していきます。

〈4　月〉
・6日、入学式。いよいよ能高生としての生活がスタート。
・11～13日、放課後に応援団による応援歌練習。14日には全校で練習。
・28日、生徒会の一年を決める生徒総会。

〈5　月〉
・7日から、県北総体がスタート。運動部は正念場。

〈6　月〉
・4日から、全県総体がスタート。サッカー、バレー、陸上は5月27日から。三年生にとってはインターハイの切符をかけた最後の大会。
・13～16日、第一回考査

〈7　月〉
・2、3日、能高祭。能高最大のイベント。マイムマイムは参加すべし。
・14、15日、校内体育大会。昨年は二Dが優勝。今年も白熱戦の予感!?
・7月22日～8月19日、夏休み&夏期講習がスタート。三年生にとって本当の夏休みは最後の一週間のみ。

〈9　月〉
・4日、十里強歩。今年は北回りの約36㎞。己の精神との戦い。
・17日、創立80周年記念式典。節目の年を迎える大事な式典。

〈10　月〉
・4～7日、第二回考査。
・7日、前期の終業式。
・11日、後期の始業式。
・27日から、修学旅行がスタート。一班と二班では、日程が一日ずれる。

〈11　月〉
・14～17日、第三回考査（三年生）

〈12　月〉
・9～14日、第三回考査（一・二年生）

〈1　月〉
・21・22日、大学入試センター試験。いよいよ本番。

〈3　月〉
・2日、卒業式。三年間学んだ校舎とも別れの時。
・9～15日、第4回考査（一・二年生）
・20日、終業式。

おおまかなこの一年の流れを紹介しましたが、あくまで予定ですので、日程は変わる可能性があります。
これを見て、この一年の計画を立ててください。

その失敗に何を学ぶ!?
『落ち込むタイプ高塙（たかはな）くん』
作　カマキリ・ボーエー

トリビアの星　知っておいて損はない特集

○オゾン層を破壊しているのは・・・フロンガスではない。
〈検証〉フロンは紫外線に当たると塩素に分解され、この塩素がオゾン層を破壊する。
○将棋の駒の歩兵の裏に書いてある文字は・・・「と」ではない。
〈検証〉「と」のように見える文字は「金」を極端に崩したものである。
○サメの歯は・・・歯ではない。
〈検証〉サメの歯と呼ばれているものは、「小歯状突起」といい、鱗が硬く変化したものである。
○オウムが・・・法廷で証言したことがある。
〈補足トリビア〉一九九三年インド南部のクララ州の地方裁判所で執り行われた、隣近所同士が一匹のオウムの所有権をめぐって争った裁判で、オウムが飼われていた家の子供の名前を呼んだことで事件が解決した。
○春分の日、秋分の日は・・・昼が夜より14分長い。
〈検証〉国立天文台の資料より。
○ドラえもんに出てくるスネ夫には・・・スネッグという弟がいる。
〈補足トリビア〉スネッグはニューヨークのおじさんの家に養子として住んでいる。
○生前に売れたゴッホの絵は・・・一枚。
〈補足トリビア〉その一枚というのは「赤いぶどう畑」という作品。

トリビアが大変不足しています。このままでは今回で最終回になる可能性があります。トリビアをお持ちの方は教えて下さい。

自然に学ぶ　愛・地球博

愛・地球博（2005年日本国際博覧会）が愛知県東部丘陵を舞台に3月25日に開幕した。開催期間は、9月25日までの一八五日間である。初日の入場者数は、真冬並みの寒さであったためか、予想を大きく下回る四三〇〇人程度であった。参加国は一二〇カ国以上で、万博史上最大の参加国数となり、世界中の様々な国と地域の文化に触れることが可能だ。イメージキャラクターは、木の精をイメージしデザインされた「モリゾー」と「キッコロ」で、会場では関連グッズや絵本等も販売される。愛知万博は『自然の叡知』をテーマとしており、今までの万博が人類の技術の素晴らしさを伝える「お祭り」のようなものであったのに対し、自然の大切さを知り、すべての「いのち」の共生を世界中の人々みんなで考えようというコンセプトのもとこのテーマが定められた。

会場が二カ所に分かれており、数多くの魅力的なアトラクションがある。ここでは、その一部を紹介しよう。

まずメインとなる出展物として、シベリアの永久凍土に閉じこめられていた一八〇〇〇年程前のマンモスが展示されている。それはマイナス18℃の冷凍室に入れられ、観客はガラスごしに見ることで、太古の生物の息吹を感じることができる。

企業パビリオンでは、日本の様々な企業が展示を行っている。トヨタは、開発した楽器演奏ロボットや一人乗り電気自動車などを出展し、私たちを未来の世界へと誘う。三菱は「もし月がなかったら」というテーマを取り上げている。月がないと地球はわずか八時間で自転してしまい、地上は強風の吹く殺伐とした環境になり、地球が今のような姿であることの奇跡を伝えてくれる。他の企業は、炎によるマジックショーを行ったり、館内で大宇宙や海底の古代船などを再現した八つのコーナーを設ける等、どれも非常に見応えのあるものばかりだ。

グローバルコモンは公式参加国や国際機関による展示物の出展スペースだ。日本ゾーンでは、球体に入って、その内側に映し出された映像を見ることで、大気中を舞う海鳥の群れ、珊瑚とそこに群がる小魚、満天の星空などの美しい映像を足下から頭上まで切れ目無く眺めることができ、それによって自然の美しさを味わうことができる。人工的に光と音、香り、映像によって作られた森林空間では、自然とつながることの心の安らぎ、気持ちの晴れやかさを実感できる。

また今回の万博の特徴の一つに市民参加が挙げられる。世界中の路上で暮らす子どもたちの作った詩や絵を集めて紹介する「ストリートチルドレン芸術祭」。広島で被爆したピアノを使って演奏会を開き、核廃絶を訴えるイベントなど独特な雰囲気を味わうことができる。

このように愛知万博には、数多くの見所がある。他にもまだまだ魅力的な出し物があり、世界各地の料理を味わえることも大きな魅力の一つだ。

ここでは地球上に生きる「自然」と「いのち」について多くのことを学び、考えることができるはずだ。あなたも愛知万博に行って「自然」と「いのち」の大切さに触れてみてはどうだろうか。

編集後記

今回の新聞は、学年の変わり目ということもあり、かなり忙しい中での制作となりました。大変ではありましたが、何とか無事に発行することが出来ました。
今後もより読みたくなるような新しい新聞が作れるように、一層努力していきたいと思います。